



国際学部
地域文化学科
日本研究コース

ヴァン ティ ギャン ヒウ
2年生





ホーチャム海の眺めの橋

- 2022年5月建てられた
- 長さ：300メートル

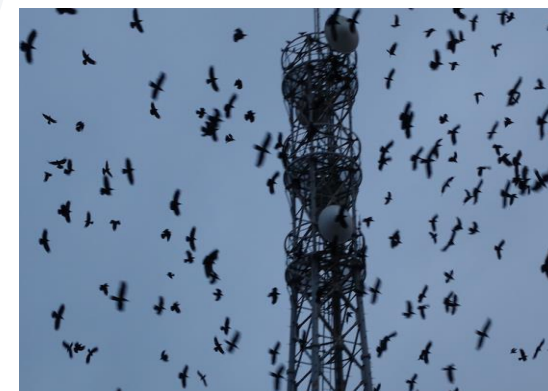


日本へ留学する理由

日本の国民的なアニメ

日本に 驚いたこと

- ゴミ箱はほとんどない
- どこにでもトイレがある
- 日本にカラスが多い
- 優しい日本人



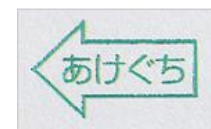
プリンを取り出し方



<https://www.youtube.com/watch?v=j8hO1zn-Zcw>



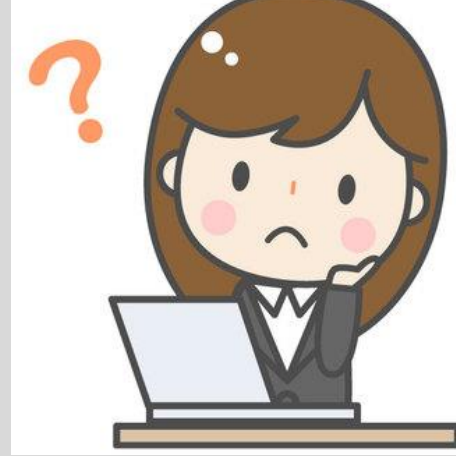
<変更前>



<変更後>



質問



ベトナム

- 親たちは子供から面倒を見てもらう
- 子供たちは親に仕送りする

日本

- 親にあまり仕送りしない
- 親と子が離れて暮らしている
- 単身高齢者が多い

ベトナムの
女性たち

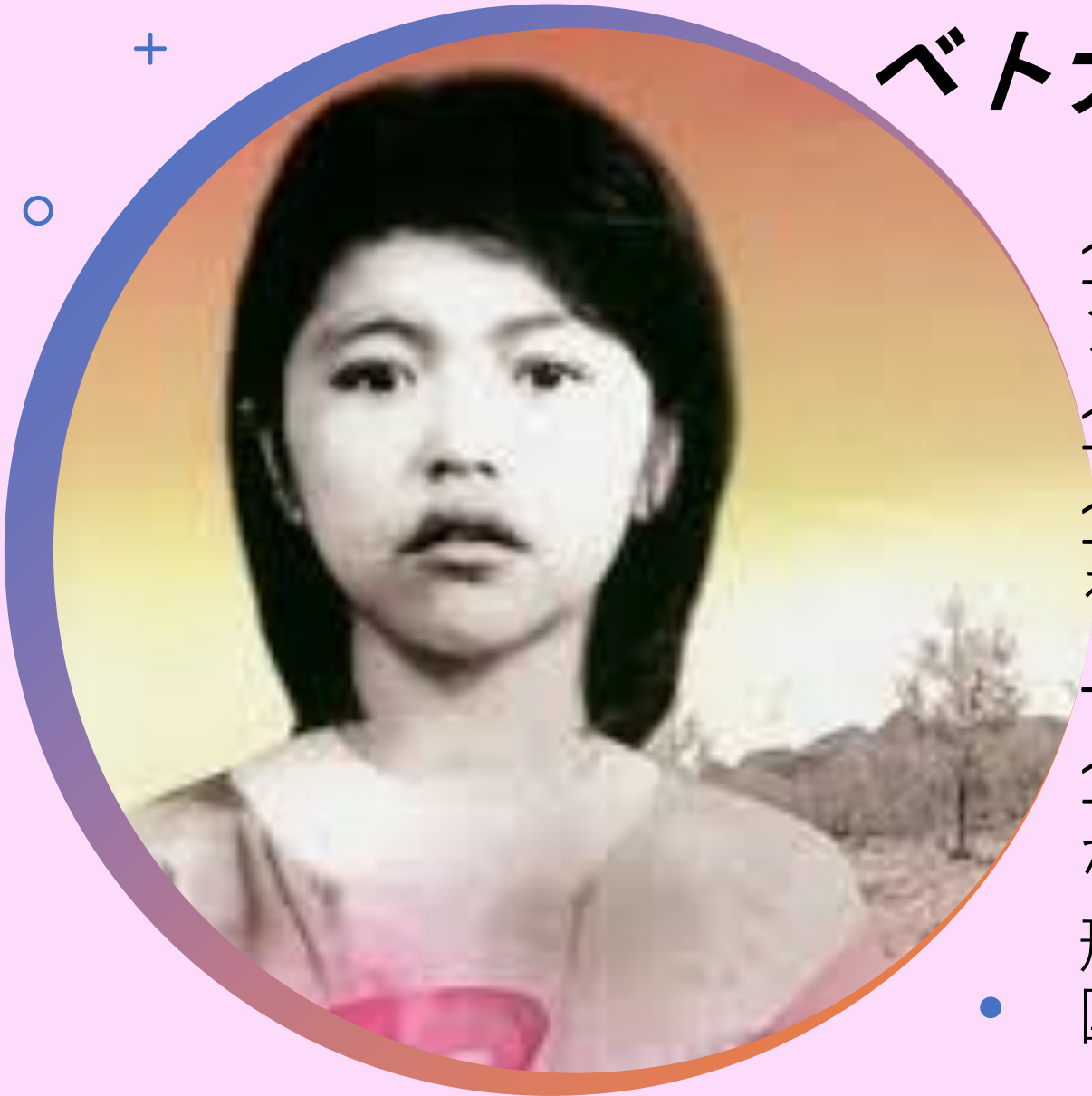


戦争時代のベトナム

- 昔のベトナムは他の国から、何度も侵略されたことがある。
- 老若男女を問わず、敵に反撃する
- 母国のために戦った女性



ベトナムの国民的な英雄



1945年、ダットドというところをフランスに侵略された

1948年、現地のゲリア組織に加入した

14歳の頃、フランス兵に向けて手榴弾を投げた

→ 隊長を殺して、12人を負傷させた

1949年12月、再び行動したが、手榴弾が爆発せず、フランスに逮捕された

刑務所で酷い拷問を受けても、絶対に国の秘密をばらさなかった

ヴォー・ティ・サウ (1933-1952)

レキマ花



- コンダオ島という刑務所で処刑された
- 処刑される前に、レキマ花をとって髪にさす余裕さえ見せていた
- 「地面にひざまずけ！」
- →「私は立つことしか知らない、跪くなんて知らない」
- 最後までベトナムの光景を見たいからと、目に覆いをかけるのを求めず、敵の銃身を真っ直ぐ見詰める勇気を持っていた

❖ ヴォー・ティ・サウ

- 気持ちを込めて、国歌を歌った
- 「フランス兵は失せろ！
この抗争には必ず勝利する！
ベトナム独立万歳！ホーチミン主席万歳！」
- フランス兵の無知をあざ笑いながら、国歌を歌い続けた

❖ 他の囚人

「不死身ヴォー・ティ・サウ万歳」

=> 全てのベトナム人の哀惜の対象となり、当時のフランス兵は18歳未満のベトナムの英雄的な女性を殺したことに激しい非難を受けた。



「ヴォー・ティ・サウへの感謝」

レキマの花が咲く季節がやってきた
私の古里はダットド

村は女性の英雄の名をずっと呼んで
いる

レキマの花が咲く季節にその身をささ
げた

彼女のことを後世まで語り継ごう
国の独立のため、身を捧げた彼女への
感謝を！





ベトナムの女性たち

昔と現在

昔

現在

結婚相手を選べない

- ・ 全て親の言うことに従う
- ・ 必ず幸せわけではない

結婚相手を自分で選べる

- ・ 親に催促されない
- ・ 運命のパートナーと出会えるまで、男性との相性を確かめたり、より好みしたりして、婚活を長くするアラフォー（36-44歳）もいる
- ・ 結婚するつもりはないという考えもある

理由：

- * 自分の好きなことができない
- * 気性が激しい義母や浮気される主人との出会い
- * 子育ては一番の恐怖である

→ ウニコットによる説「出産後の母親はしばらくの間、寝食を忘れて、養育にかかりきりになる状態」=>産後うつ病、素敵なスタイルが失う、家庭の様々なことに悩む

男尊女卑思想の時代

- ・ 嫁ぎ先で、働き詰める毎日であった
- ・ 男性は社会でお金を稼いで、嫁に家事を全て丸投げ

→ 専業主婦世帯

- ・ 大きな夢や抱負などを持っていなかった
- ・ 社会の中で、自分の立ち位置が認められていなかった

→ 離婚しようにも離婚できない

- ・ 経済的に自立できなかった
- ・ 子供の将来に対する心配

21世紀の現在

- ・ 家族全員に手厚い世話をする

→ 共働き世帯

- ・ 社会の中で、自分の立ち位置がついでに認められてきた。





Forbes



ゲン・ティ・ギャ

2019年フォーブスによる
「アジアで最も影響力のある女性
トップ50」に選出された

- ベトナムのセアバンク銀行の元社長
- BGR集团の主席
- 不動産、ゴルフ場、ホテル、リゾート事業を手がけている

現在のベトナム人の女性

- 夫に生計を頼らない
 - 経済的な自立である
- 迷わず、離婚を踏み切る。
- ただし
- 子供のことを考える→葛藤に苦しむ
 - 冷戦状態の中で子育て→子供によくない
- ⇒親の喧嘩なしで、楽しい状態で子育てをしたい

パートナーに愛想を尽かしたとしても、即刻離婚を
決めることに賛成するわけではない





夫婦の円満な関係

ご清聴
ありがとうございました！